

平成20年度 西陵中学校についてのアンケート結果 分析と今後の方針

アンケート実施時期:平成20年12月初旬

1教育目標実現に向けた努力

ほとんどの保護者から高い評価を得て、学校の努力が認められています。しかし、1割程度の保護者からは肯定的な評価を得られていません。学校づくりビジョンの浸透度を上げるとともに、様々な機会を通して、取組の成果をわかりやすく伝えていくようにします。

2わかる授業

8割以上の生徒が、「授業がわかりやすい」と答えています。また、教師も全員が「授業改善・工夫を行っている」と回答しています。校内研修の充実や教師全員が相互に授業公開を行う取り組みが昨年度以上に進み、成果を上げていけると言えます。しかし、保護者が「子どもは授業がわかりやすいと言っている」と回答しているのは、半数程度であり、家庭内の話し合いが十分に行われていないことが伺われます。一方で2割の生徒が授業のわかりにくさを訴えている事実をしっかりと受け止め、家庭学習の充実を図りながらわかりやすい授業を行うよう取り組みを進めていきます。

3道徳・人権学習の充実

約8割の生徒や保護者から肯定的な評価をいただいています。日常の指導や取り組みの成果と考えられます。しかし、否定的な評価も少なからずあることを踏まえ、道徳の時間を中心に、すべての教育活動において道徳教育や人権教育の充実を図るための取り組みを進めていきます。

4進路指導の充実

進路指導についてはキャリア教育の一環として職業調べや職場体験学習、高校調べ等、1年生から計画的に行っています。しかし、「わからない」を選択した保護者は1割以上であり、学校での取り組みが十分に伝えられていないと考えられます。3年間を見通した体系的な指導計画を示しながら、保護者へわかりやすく伝えていくようにします。

5適切な評価

「評価基準や評価方法などできる限り提示していく」という昨年度の課題から、本年度始めにシラバス(学習計画書)を作成し、配布いたしました。指導に当たってはシラバスを意識し、適切な評価を心がけた結果、約8割の保護者から肯定的な評価をいただきました。今後とも、適切な評価ができるよう研修を重ねていきます。

6充実した学校生活

学校生活を楽しんでいる生徒は8割以上であり、多くの生徒が学校生活に満足していると言えます。また、保護者も同程度の割合で肯定的な評価をいただきました。しかし、1割以上の生徒が「学校生活が楽しい」とは答えていません。教育相談や日常の取り組みを通して、課題の解決を図っていきます。また、スクールカウンセラーとの連携を図りながら、学校行事や学級活動などを通して仲間づくりにしっかりと取り組み、改善を図っていきます。

7仲間づくり

ほとんどの生徒は学級の仲間や友達との関係がうまくいっています。しかし、他人との人間関係がうまくいっていない生徒も見られます。教育相談やスクールカウンセラーとの連携を通して、改善を図っていきます。

8生徒指導上の問題への対応

生徒指導については、問題の早期発見・早期解決をめざして取り組んでいます。その結果、生徒指導上の大きな問題はなく、個々の問題も解決が図られています。今後、さらに問題の早期発見・早期解決や組織的に対応できる体制づくりに努力していきます。

9教育相談

毎学期の定期的な教育相談や生徒との日常的な関係づくりの中で、相談活動ができるようにしています。しかし、生徒の中には先生に相談しにくい子もいます。生徒との信頼関係を今一度築き、日常的にカウンセリングマインドに立った相談活動の充実を図っていきます。また、スクールカウンセラーとの連携をより密にしていきます。

10部活動の充実

部活動の数は限られていますが、8割の生徒が、「部活動は楽しく充実している」と答えています。普段の活動の様子からも、熱心に活動している姿が見られます。また、顧問も熱心に指導に当たっています。今後とも、部活動の教育的意義を十分に共通認識しながら指導に当たっていきます。

11保護者・地域との連携

8割以上の保護者から肯定的な評価をいただいています。保護者や地域の方に授業や行事を公開したり、生徒について話し合う機会をよく設けていることが評価されていると思います。今後、内容を充実させ、さらに連携を図っていきます。

12危機管理体制

安全な生活が送れるよう、学校内外での指導を進めています。生徒への交通安全教室や教師への危機管理研修会を実施し、意識の向上を図っています。しかし、登下校の事故や校内のけが等は少なからずあります。今後とも、体制と指導の充実をめざしていきます。

13情報の発信・受信

各種通信の発行や学校ホームページの更新により、学校全体として情報提供に取り組んだ結果、8割以上の保護者から肯定的な評価をいただいています。昨年度の改善方針にあげられた「ホームページの充実と見直し、効果的な運用」については成果が見られたと考えます。内容の充実とよりタイムリーな発信を行うとともに、保護者や地域の方からの願いをつかむ努力をしていきます。